

令和5年度

事業報告書

特定非営利活動法人STAND ALIVE

1 事業の成果

母子保健講習会

STAND ALIVE の中心事業となる活動。地域保健ボランティアと協同し、毎週 17～19 ヲ村で住民たちを集め、母子保健知識向上のための講習会を実施し、地域の高い母子死亡率改善を図る。令和 5 年度（2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日）では、講習会は 19 ヲ村で計 790 回開催され、その参加者数は、実人数で 200～300 人程、延べ人数で 8,328 人となった。講習会の主な参加者は出産年齢とされる 15 歳～48 歳までの女性であり、5 歳未満の子どもを持つ親や妊産婦である。

メンタルヘルス事業

- 1 キスム郡保健局のコミュニティヘルス担当者調整を開始し、2023 年 5 月 29 日～31 日（3 日間、24 時間）にかけて事業地域で政府認定の地域保健ボランティアとして働く 43 名の地域住民に対して精神疾患とメンタルヘルス（以下、まとめて精神保健と記載する）に関するトレーニングを実施した。講師は、キスム郡保健局から派遣された看護師や、地域保健専門家が担い、精神保健の基本的な知識のほか、どのような予防や手助けができるか、また専門的なケアが必要な場合の付託方法などをテーマとして扱った。トレーニング後、地域保健ボランティアたちは日々行っている世帯訪問や地域での啓発活動を通して、精神保健に関する知識を広めるほか、地域で専門的なケアが必要な事例が確認された場合に医療機関へ付託する役割を担うこととなった。
- 2 地域保健ボランティアのトレーニング終了後、6 月から 9 月にかけて、事業地内の 16 ヲ村において地域住民を対象とした精神保健知識の啓発イベントを実施した。講師は地域の診療所で働く看護師や、キスム郡保健局職員が担当し、合計で 670 人の地域住民が参加し、9 月末までで既に 5 件のケースが専門的なケアに付託された。

若年妊娠抑制事業

キスム郡保健局の公衆衛生担当者と活動に関する調整を開始し、2023 年 9 月 7 日～10 月 18 日の期間で、計 20 ヲ村で 1,199 人の子供（9～19 歳）および養育者、また 2023 年 11 月 10 日～12 月 15 日の期間で、新たに 2 ヲ村を加えた計 22 ヲ村で 732 人の子供（8～19 歳）および養育者が本活動に参加した。各村では、地域行政の公衆衛生担当者や、地域の診療所で働く医師や看護師が講師となり講習会を実施。各グループにおいて個別の質問や議論が活発に行われた。

地域行政および学校関係者、また参加した子供や養育者からは、若年妊娠はコミュニティにおける深刻な問題であり、本活動を通してオープンに議論する場が設けられて事に関する感謝の言葉が述べられるとともに、このような啓発活動を定期的かつより広範囲で行ってほしいという要望も各村であがった。さらに、2024 年 2 月には当会が実施している母子保健講習会においても、若年妊娠に関するトピックを取り上げ、参加している母親たちへの啓発を行った。

当会としては、キスム郡コゴニ準区ではコミュニティとしてこの類の議論を受け入れる素地はできており、継続的にリマインドを行っていくことがコミュニティ全体の意識を変えることにつながっていくと考える。また、望まない性行為や妊娠を経験した子たち、また実際に 10 代で母親となった子たちが孤立しないようなサポート体制づくりも大切であり、当会がそのようなケースが起こった際の橋渡しになれるよう、地域行政とも協力しながら今後も引き続き活動を行っていく予定である。

蚊帳配布事業

2023 年 5 月 25 日および 26 日、ケニア共和国キスム郡(Kisumu County)にあるコゴニ準区(Kogony Sub-Location)においてオリセットネットの配布が行われた。配布されたオリセットネットの総数は 944 枚となり、配布対象は主に、貧困層や障害者、高齢者といった脆弱性の高い地域住民と、5 歳未満の乳幼児を持つ女性住民であった。オリセットネットは、公益社団法人日本国際民間協力会(NICCO)により提供されたものである。配布の調整および実施については、現地で母子保健講習会(Mother to Mother

Support Session)を推進する特定非営利活動法人 STAND ALIVE であり、コゴニ準区で活動する4つの地域保健ボランティアのグループ(Community Health Unit)がその協力に当たった。なお、用意されたオリセットネットは1,000枚であり、残りの56枚については、母子保健講習会に参加している女性住民を対象に配布される予定である。

調理実習事業

地域的な乳幼児の慢性的な栄養不良問題に、全国規模の物価高騰がさらに拍車をかける中、問題の解決を図るための調理実習事業を2024年1月より開始した。調理実習の目的は、地域住民が安価で手に入る食材を利用して、必要な栄養を摂取できる料理を学ぶことで、乳幼児の栄養改善に繋げるといふもの。今後、事業終了となる2025年3月までに、できる限り多くの住民たちに実習に参加してもらえるよう、引き続き活動を続けていく。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 1686 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)	
アフリカの途上国における、母子死亡率を改善するための事業	母子保健講習会事業	4月1日 ～ 3月31日	ケニア共和国キスム郡コゴニ準区	3人	キスム西準郡の女性を中心とした住民	延べ8,328人	106	
	メンタルヘルス事業	地域保健ボランティアに精神保健知識研修を行った。	5月29日 ～ 5月31日	ケニア共和国キスム郡コゴニ準区	3人	地域保健ボランティア	43人	757
		精神保健知識の向上を目的とした啓発イベントを事業地内16カ村で実施した。	6月1日 ～ 9月30日	ケニア共和国キスム郡コゴニ準区	3人	キスム西準郡の女性を中心とした住民	670人	
	若年妊娠抑制事業	若年妊娠予防に関する啓発活動を事業地内20カ村で行った。	9月1日 ～ 12月31日	ケニア共和国キスム郡コゴニ準区	3人	10代を中心とした若者	1,931人	190
	蚊帳配布事業	マラリア対策のためのオリセットネットの配布を行った。	5月25日、 5月26日	ケニア共和国キスム郡コゴニ準区	3人	貧困世帯住民	1,000世帯	443
	調理実習事業	地域の栄養改善を目的とした調理実習イベントを事業地内2カ村で実施した。	2月28日、 3月20日	ケニア共和国キスム郡コゴニ準区	3人	キスム西準郡の女性を中心とした住民	90人	190

以上